

汐風通信

KANSAI UNIVERSITY of SOCIAL WELFARE



第14回 汐風祭
バレーボール部大会報告
教育懇談会



ちょうふうつうしん
2010 Number 41



汐風通信 2010 Number 41

関西福祉大学汐風通信 No.41 2010年12月25日発行 / 関西福祉大学教育後援会
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3 Tel.0791-46-2525 Fax.0791-46-2526
大学HP <http://www.kusw.ac.jp/> 教育後援会HP <http://www.kusw.ac.jp/kouenkai/index.html>

第14回

汐風祭

今夏の猛暑を乗り切って
14回目の汐風祭が今年も盛大に行われました。

one for
14 all All for one
みんな
ひとつ
～関福はひとつのために
汐風はみんなのために～



10月29日(金)いよいよ前夜祭が幕を開けました。迫り来る台風を吹っ飛ばすかのような勢いで始まった前夜祭!過去にもまさる盛り上がりを見せ、多くの出場者を迎えたダンスやライブステージが行されました。

例年大学祭を楽しみに来て下さる方を

全員が笑顔で迎え、模擬店ではたこ焼きやホットドック、ラーメンなど今年も数

多くの催しはもちろんのこと、フォトコ

ンテストや物づくり、福祉体験、おばけ屋敷やちびっこランドなど様々なイベント

が行われました。

毎年恒例となってきた動物園では、悪

天候により急遽、翌日に開催が変更となり、またフリーマーケットも30日(土)は

中止となり、楽しみにしていただいていた方には本当に残念な思いをさせてしまつたことと思います。今年は大雨に見回

れ、大学祭始まって初めての悪天候に戸惑うこともある中、ご協力いただきまし

た皆様に関しましては温かい目で見守つ

て下さり本当にありがとうございました。

例年より苛酷な状況の中ではあります

たが、豪華タレントと人気お笑い芸人が

今年も最多の6組登場し、ステージも更

に盛り上がることとなりました。また、学

内では各部・サークルにより複数のイベ

ントや作品展も行われ、日頃の練習成果

を発揮する場となりました。

毎年独自の形で楽しませてくれる汐風

祭。来年はどんな形で楽しめてくれるのか、乞うご期待です。



まちの保健室

毎月第3木曜日 13時～16時 プラット赤穂1階で
看護学部教員とボランティア学生が「まちの保健室」を開催しています。

「病院に行くほどではないけど、ちょっと心配」「健康チェックを定期的に受けたい」という市民の方を対象に、血圧、体脂肪、骨密度などの健康チェックや健康相談を無料で行っています。

毎月来られる方も多く、毎回20～30名の利用者があります。コーヒーやお茶のサービスもあり、和やかな雰囲気で行われています。



家族で食べるヤキソバ、最高！



ヤキソバ作り、
協力して頑張る！

B級グルメ
大会

赤穂焼きそば「アミニーレー」報告

社会福祉学部 SSW委員会 八木修司

平成22年11月13日(土)、本学の社会福祉学部学生ホール、看護学部調理室を中心にB級グルメ大会「赤穂ヤキソバアミニーレ」を開催しました。

この行事はスクール(学校)ソーシャルワーカー養成課程の学生達(18名)が企画・準備・実行を一手に担いました。学内調整(会場調整、ボランティア募集、他)、学外調整(教育委員会、各学校、地元新聞社、他)を図りました。相当大変な活動でしたが、頑張って取り組んでくれました。1年生から4年生まで30名を超える学内サポート(ボランティア)もその熱意に共感してくれました。

この行事には、赤穂市内の小学生34名、その保護者25名が参加しました。午前中は小学生がヤキソバ食材の「宝探し」、保護者は、講演会「子育てのヒント」クイズで考える子育ての知恵に参加しました。子ども達は昼前から、看護学部の調理室にて得られた食材で大学生とともにヤキソバ作りに取り組みました。午後からは、親子ゲーム大会(3種類のゲーム)に取り組み、大いに盛り上がらりました。

実行委員長の山本真季子さん(4年生)は「学生主導で企画し、様々な関係者と調整してきました。学内や学外、一つの行事をするのもこんなに大変であるのかと実感しました。しかし、この経験は大學生の中でも最高です!一番はチームで助け合って乗り越えられたことが大きいです。何より、多くの地域の子ども達や保護者の方々に喜んでいただけ嬉しかった。卒業後の仕事にも生きると思います」と感想を述べました。次年度も継続します!よろしくお願ひいたします。

スクール(学校)ソーシャルワーカー養成課程企画行事・地域親子交流事業

B級グルメ
大会

赤穂焼きそば「アミニーレー」報告

社会福祉学部 SSW委員会 八木修司

アンケート調査では、ほぼ100%の高評価でした。「休日にとても楽しい時間を過ごすことが出来てよかったです」「小6ですが、来年も参加したいです。中学生も参加する機会を」「次年度も是非継続して下さい。大学生のお兄さん、お姉さんありがとうございます!」「講演会も楽しかったです。子育てを考える機会になりました」、他、参加者の方々からエールもいただきました。

実行委員長の山本真季子さん(4年生)は「学生主導で企画し、地域の子ども達や保護者の方々と一緒に大変であるのかと実感しました。しかし、この経験は大學生の中でも最高です!一番はチームで助け合って乗り越えられたことが大きいです。何より、多くの地域の子ども達や保護者の方々に喜んでいただけ嬉しかった。卒業後の仕事にも生きると思います」と感想を述べました。次年度も継続します!よろしくお願ひいたします。

中学生の職場体験
トライやる・ワーク

本学図書館では今年も10月18日(月)～22日(金)の5日間、「トライやる・ワーク」として計6名の中学生を受け入れました。(赤穂西中学校3名、坂越中学校3名)

生徒たちの仕事は、毎日、開館準備から始まります。そして、気になる新聞記事をコピーし、感想を記入する「新聞スクラップ」作業、その後、カウンターでの貸出返却処理、本の受入作業、館内の清掃などへと続きます。

5日間の職場体験後、「新聞スクラップはこれからも家で続けたい」という嬉しい感想をくれた生徒もいました。



生徒の書いた新聞スクラップは
図書館にあるので
是非見に来てください!



平成22年度 教育懇談会

日時 10月30日(土) 看護学部 開会10時20分～11時30分

社会福祉学部 開会11時20分～12時30分



本日は、何かとお忙しいなか、教育懇談会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

この懇談会は、私たち、関西福祉大学の学生の保護者と大学および大学の教職員のみなさんがよりよい信頼関係を築き、連携していくことを主な目的として開催しています。

さて、関西福祉大学も開学から14年目を迎えました。看護学部も第1期卒業生を社会へ送り出し、2学部体制の下で学生たちが熱心に勉強し、また、クラブ・サークル活動やボランティア活動などの社会的活動に積極的に取り組むことができますよう今まで以上に本会事業へのご理解とご協力・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げる次第でございます。

ここで、4月に開催いたしました総会におきましてご承認いたしました、本年度事業に基づいて、本年度前期に実施いたしました主な事業の概要につきまして、簡単に報告させていただきます。

まず、会報「汐風通信」の39号を6月30日に発行、40号を10月25日に発行いたしました。

また、教育振興への支援として、演習・コミュニティーアワー助成費から、各ゼミクラス

への助成や、課外活動の活性化を図るために、課外活動助成費からの各サークルへの活動援助を行っております。汐風通信でも報告申しあげましたが、本年度は、剣道選手権大会に出場という大変嬉しいニュースがあり、教育後援会といいたしましても、激励のための壮行金を贈呈したいと考えております。また、今年度17名の参加者があつたスウェーデン視察研修旅行には、海外研修助成費より助成金を贈りました。後期の大きな事業としまして、新たに各種実習にかかる交通費の補助を検討しております。実習の配属先によりましては、多額の交通費がかかっている学生が見受けられます。勤費の過多の是正に役立つようになればよいと思つております。

引き続き本会の活動へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、本日は大学側から学部の教育に関する考え方や、国試対策就職状況・学生生活関係ほかの説明をいただきます。そして、当会終了後はお時間の許す限り汐風祭の見学・ご参加をいただきますようお願いいたします。

男子バレー部

関西大学バレー部連盟 7部秋季リーグ戦優勝!!

男子バレー部が、関西大学バレーボール連盟7部秋季リーグ戦にて見事優勝しました。部員数が少ない状況の中でも、一人ひとりが強い目標をもち、日々の練習に取り組むことで念願の優勝を勝ち取ることができました。前向きに強く前進していく男子バレー部の今後の活躍に期待しています。



尾中 陽平／社会福祉学部社会福祉専攻2年(兵庫県 社高等学校出身)

さる9月12日(日)～10月24日(日)に行われた関西大学バレー部連盟7部秋季リーグ戦においてこのたびリーグ優勝することができます。長い間7部リーグで戦っていました。長い間7部リーグで戦つてきましたが今回「絶対に優勝しよう!」と臨んだ大会で優勝という結果を残して嬉しく思っています。まだミスの多い所や精神的に弱い部分も目立つたので課題として取り組んでいきたいと思っています。

部員一人ひとりの能力、スキルは今まででとても勝てないレベルなので、さらに上を目指すことは難しいと考えられます。そこで一人ひとりが課題の克服、技術向上のため高い意識を持ち練習しています。朝は自主参加という形で取り組んでいます。

現在、4回生が引退されて5人となりました。5人では試合には出られません。そこで、少しでもバレー

ボールに興味がある方や、体を動かしたいのに動かす環境、きっかけがない方は、経験の有無にかかわらず一度男子バレー部をのぞきに来てください。一緒にバレーを通じて熱くなり、一生の思い出を作りませんか?



第7回 ホームカミングデー開催

汐風祭に併せて開催しているホームカミングデーも、今年で7回目を迎えました。

恒例となつた写真撮影・関福まんじゅう・喫茶ライムのドリンク券・模擬店金券の配布などを行い、訪れた卒業生の方々に母校でのひとときを楽しんでもらいました。

10月30日・31日の2日間で200名以上の卒業生が訪れ、校友会館内に設置したメッセージボードには、記念撮影したボラロイドに写った卒業生のたくさんの笑顔が貼付されていました。

その写真を見ながら、再会した友人たちとの思い出話や近況を語り合う姿が見られ、違う仕事をしても、また離れていてなかなか会えなくとも、同窓生の繋がりがお互いの支えや励ましになつていてことが感じられました。

また、ホームカミングデーの受付は昨年に引き続き、在学生に担当していました。来学した卒業生と久々に再開して会話を弾むなど、在学生が先輩を出迎える受付スタイルが好評でした。

今まではとても勝てないレベルなので、さらに上を目指すことは難しいと考えられます。そこで一人ひとりが課題の克服、技術向上のため高い意識を持ち練習しています。朝は自主参加という形で取り組んでいます。

部員一人ひとりの能力、スキルは今まででとても勝てないレベルなので、さらに上を目指すことは難しいと考えられます。そこで一人ひとりが課題の克服、技術向上のため高い意識を持ち練習しています。朝は

ホームカミングデーと同日、卒業生を対象に「恩師との自由面談会」と「予約制の個別相談会」を開催いたしました。自由面談会では先生方と近況や大学時代の思い出話に花を咲かせ、予約制の個別相談会では、仕事や資格などの相談をおこなっていました。

「外見はパパ中身は子ども!?どさんこナース☆」



いづみ けんたろう
泉 健太朗
看護学部2年
(兵庫県 姫路飾西高等学校出身)

「徳島の歌うま姫、見参!!」



いと あやか
糸田川 紗希
社会福祉学部社会福祉専攻1年
(徳島県 脇町高等学校出身)

「笑顔の裏は変顔最恐…?(→o←)ゞ!」



たかはし みさき
高橋 美沙紀
看護学部2年
(兵庫県 福崎高等学校出身)

うちの学生 こんな学生!?

No.181 伊藤 彩華 さんからの紹介

No.184 「草彅君を超えた!?さわやかな&いい人☆」



はら だ こうじ
原田 晃志
看護学部4年
(愛媛県 済美高等学校出身)

No.185 「元気で明るい走り屋(マダラ)」



はるな しづか
春名 静香
社会福祉学部社会福祉専攻3年
(兵庫県 鈴蘭台高等学校出身)

Big Familyが古着をマニラの児童擁護団体「Kanlungan」へ

マニラの子どもたちへの クリスマスプレゼント



フィリピン・マニラのストリートチルドレンの支援活動に取り組んでいる「Big Family」が、赤穂市民から頂いた古着のうち、子ども用衣服(20kg段ボール21箱、2,590点)を第一便として、11月11日に発送しました。大学祭のフリーマーケットでの収益や、大学行事のアルバイトで得たものを持ち寄り、その郵送費に充てました。安易に寄付に頼ることなく、自ら汗を流して目的を達成しようとする学生たち。「すばらしい」の一言です。11月23日の公開講演会の講師として来学された「Kanlungan」の代表にその目録が贈呈され、その様子は地元の情報誌で大きく取り上げられました。

学生の店第2号店、「とらいあんぐる」がオープン

花岳寺通商店街の空き店舗を活用した「大福。」に続いて、兵庫県の地域再生応援事業の助成を受けて、駅前通りの空き店舗を活用した「とらいあんぐる」が11月6日に開店しました。学生の組織、地域の農家等で構成される団体、そして地域の人々、この3者が一体となって地域を活性化することに取り組んでいます。農家と連携した赤穂産の新鮮な野菜の販売(地産地消による地域活性化)と、外出困難な人々の買い物支援デリバリー(安心して暮らせるまちづくり)を事業の柱に据え、3年次の社会福祉特別演習の溝端ゼミの学生が毎週土日(9時~15時)に営業しています。出品したいという農家や企業も増え、そのネットワークは開店2ヶ月足らずで着実に広がっています。



平成23年度 入試概要

社会福祉学部 社会福祉学科

一般入試

入試区分	前期日程		後期日程
	第1日程	第2日程	
募集人員	社会福祉専攻30名 / 子ども福祉専攻7名		社会福祉専攻6名 / 子ども福祉専攻2名
出願期間	【郵送による出願】平成23年1月4日(火)～1月20日(木)消印有効 【窓口持参による出願】平成23年1月21日(金)10:00～17:00		平成23年2月7日(月)～2月28日(月)消印有効
試験日	平成23年1月26日(水)	平成23年1月28日(金)	平成23年3月4日(金)
試験科目等	英語、国語、数学、世界史、日本史から2科目選択	英語、国語、数学から1科目選択	
試験会場	本学名産・福井・大阪・和歌山・神戸・岡山・広島・松山・福岡	本学・京都・大阪・神戸・岡山・広島・松山・福岡	本学・大阪
合格発表	平成23年2月5日(土)	平成23年3月11日(金)	
入学手続期間	(1次) 平成23年2月7日(月)～2月18日(金)消印有効 (2次) 平成23年3月1日(火)～3月24日(木)消印有効		平成23年3月11日(金)～3月24日(木)消印有効

大学入試センター試験利用入試

入試区分	前期日程		後期日程
	第1日程	第2日程	
募集人員	社会福祉専攻8名 / 子ども福祉専攻2名		社会福祉専攻4名 / 子ども福祉専攻1名
出願期間	平成23年1月4日(火)～1月26日(水)消印有効	平成23年2月7日(月)～2月28日(月)消印有効	
試験日	個別試験なし		
試験科目等	必須科目：外国語 選択科目：国語、地理歴史、公民、数学、理科から2科目選択	外国語、国語、地理歴史、公民、数学、理科から2科目選択	
試験会場	—	—	—
合格発表	平成23年2月12日(土)	平成23年3月11日(金)	
入学手続期間	(1次) 平成23年2月14日(月)～2月21日(金)消印有効 (2次) 平成23年3月1日(火)～3月24日(木)消印有効		平成23年3月11日(金)～3月24日(木)消印有効

社会人特別選抜入試

入試区分	3年次編入学一般入試	
	Ⅰ期	Ⅱ期
募集人員	社会人選抜Ⅰ期(併願可)	
出願期間	若干名	5名
試験日	平成23年1月24日(月)～2月7日(月)消印有効	平成23年2月12日(土)
試験科目等	小論文、面接	
試験会場	本学	
合格発表	平成23年2月18日(金)	平成23年2月18日(金)
入学手続期間	(1次) 平成23年2月18日(金)～2月25日(金)消印有効 (2次) 平成23年3月1日(火)～3月24日(木)消印有効	

大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程

入試区分	II期	
	募集人員	10名
出願期間	平成23年1月24日(月)～2月7日(月)消印有効	
試験日	平成23年2月12日(土)	
試験科目等	一般入学試験：英語・専門科目：面接(研究計画書参考) 社会人入学試験：小論文・面接(研究計画書参考) 外国語留学生入学試験：専門科目：面接	
試験会場	本学	
合格発表	平成23年2月18日(金)	
入学手續期間	(1次) 平成23年2月18日(金)～2月25日(金)消印有効 (2次) 平成23年3月1日(火)～3月24日(木)消印有効	

兄弟姉妹特別奨学金制度

平成23年度入学試験に合格した入学志願者の兄弟姉妹が、次の1または2の何れかに該当しているとき、入学候補者本人の申請に基づき、入学金の2分の1相当額を奨学金として給付します。

1.関西金光学園の設置する学校(関西福祉大学(大学院含む)・金光高等専修学校、金光大阪中学校・高等学校、金光八尾中学校・高等学校)に在籍(平成23年3月卒業予定含む)している。
2.関西金光学園の設置している学校の平成23年度入学試験を兄弟姉妹2名以上で受験し合格後2名以上が同時に入学する。

社会福祉学部	看護学部	大学院 社会福祉学研究科	
給付額	12万円	14万円	12万円

兄弟姉妹特別奨学金制度

平成23年度入学試験に合格した入学志願者の兄弟姉妹が、次の1または2の何れかに該当しているとき、入学候補者本人の申請に基づき、入学金の2分の1相当額を奨学金として給付します。

- 1.関西金光学園の設置する学校(関西福祉大学(大学院含む)・金光高等専修学校、金光大阪中学校・高等学校、金光八尾中学校・高等学校)に在籍(平成23年3月卒業予定含む)している。
- 2.関西金光学園の設置している学校の平成23年度入学試験を兄弟姉妹2名以上で受験し合格後2名以上が同時に入学する。

説明書発行機関が導入され、3ヶ月経ちましたが、学生のみなさんは、うまく活用できています。必ず一人で決めて下さると思います。最近、下宿生をターゲットとした質問が多く、被雪が多めであります。必ず一人で決めて下さい。(S)

編集後記

看護学部 看護学科

一般入試

入試区分	前期日程		後期日程
	第1日程	第2日程	
募集人員	25名		3名
出願期間	【郵送による出願】平成23年1月4日(火)～1月20日(木)消印有効 【窓口持参による出願】平成23年1月21日(金)10:00～17:00		平成23年2月7日(月)～2月28日(月)消印有効
試験日	平成23年1月26日(水)	平成23年1月28日(金)	平成23年3月4日(金)
試験科目等	英語、国語、数学、世界史、日本史から2科目選択	英語、国語、数学から1科目選択	
試験会場	本学名産・福井・大阪・和歌山・神戸・岡山・広島・松山・福岡	本学・京都・大阪・神戸・岡山・広島・松山・福岡	本学・大阪
合格発表	平成23年2月5日(土)	平成23年3月11日(金)	
入学手続期間	(1次) 平成23年2月7日(月)～2月18日(金)消印有効 (2次) 平成23年3月1日(火)～3月24日(木)消印有効		平成23年3月11日(金)～3月24日(木)消印有効

大学入試センター試験利用入試

入試区分	前期日程		後期日程
	第1日程	第2日程	
募集人員	5名		2名
出願期間	平成23年1月4日(火)～1月26日(水)消印有効	平成23年2月7日(月)～2月28日(月)消印有効	
試験日	個別試験なし		
試験科目等	必須科目：外国語 選択科目：国語、地理歴史、公民、数学、理科から2科目選択	必須科目：外国語(英語) 選択科目：(国語、数学、理科)から2科目選択	
試験会場	—	—	—
合格発表	平成23年2月12日(土)	平成23年3月11日(金)	
入学手続期間	(1次) 平成23年2月14日(月)～2月21日(金)消印有効 (2次) 平成23年3月1日(火)～3月24日(木)消印有効		平成23年3月11日(金)～3月24日(木)消印有効

社会人特別選抜入試

入試区分	3年次編入学一般入試	
	Ⅰ期	Ⅱ期
募集人員	社会人選抜Ⅰ期(併願可)	
出願期間	若干名	5名
試験日	平成23年1月24日(月)～2月7日(月)消印有効	平成23年2月12日(土)
試験科目等	小論文、面接	
試験会場	本学	
合格発表	平成23年2月18日(金)	平成23年2月18日(金)
入学手続期間	(1次) 平成23年2月18日(金)～2月25日(金)消印有効 (2次) 平成23年3月1日(火)～3月24日(木)消印有効	

「病/病者へのまなざし～F.ナイチンゲール『看護覚え書』をてがかりに考える～」

日時：平成23年1月11日(火) 16:20～18:00
場所：関西福祉大学 コミュニティホール(定員70名)
※関西福祉大学 教職員・学生はどなたでも参加できます。
直接、会場にお越しください。一般市民参加歓迎(費用無料)

講師：大北 全俊氏

■大北氏プロフィール

「人が病気になること/健康でいること」といったごく日常的な事象を通して、個人と社会がどういう関係にあるのかということを哲学/倫理学というアプローチの仕方で研究している。ここしばらくはHIV感染症をめぐる諸事象を中心に研究している。2009年度は(財)エイズ予防財団のリサーチ・レジデントとして国立大阪医療センター・HIV/AIDS先端医療開発センターに配属。2010年度より大阪大学大学院文学研究科倫理・臨床哲学研究室に着任。現在に至る。

ひとくちメモ

- 開 学 平成9年(1997年)4月
- 開設(大学院) 平成21年(2009年)4月
- 学部・学科 社会福祉学部・社会福祉学科
社会福祉専攻 子ども福祉専攻
看護学部・看護学科
- 大 学 院 社会福祉学研究科
- 学 長 安井秀作
- 教 員 数 専任(看護学部) 32名
(助手を含む) 社会福祉学研究科 (16名)
- 職 員 数 46名
社会福祉学部 862名
看護学部 371名
社会福祉学研究科 10名
- 教員一人あたりの学生数 社会福祉学部 24名
看護学部 12名
- 卒 業 生 数 累計 2,748名
- 社会福祉士合格者数 累計 1,002名
- 精神保健福祉士合格者数 累計 196名
- 看護師合格者数 72名
- 保健士合格者数 53名
- 敷 地 59,674m²
- 延 床 19,745m²

平成22年12月10日現在



人の想いにしっかり応える福祉・看護の人材を育成 関西福祉大学公開講演会

いのち

生命輝かそう関西福祉大学～自己実現を目指して～

日時：平成23年1月17日(月) 14:40～16:10

場所：関西福祉大学 大ホール(A100)

講師：邊見 公雄氏

全国自治体病院協議会 会長
赤穂市民病院 名誉院長

■邊見氏プロフィール

1968年京都大学医学部卒。大和高田市立病院、京都透信病院などを経て、1978年より赤穂市民病院外科医長。1987年より同病院の院長就任。(第三代)2009年には院長を退任し、名誉院長に就任。

